

当院のシンボルマークは、患者さまに対する「まごころ」を漢字の「心」で表現しています。



地方独立行政法人

下関市立市民病院

SHIMONOSEKI CITY HOSPITAL

2026年 vol.54



▲2026年7月より肥満症外来を開設しました。健康診断などで肥満、肥満に関連する健康障害を指摘された方、お悩みの方はご相談ください。

特集 肥満症外来 はじめました

がん診療コーナー 「眼部のがん」について
お知らせ 下関市立市民病院同門会開催のご報告 ほか
もっと知りたい R S T (呼吸器サポートチーム)
地域の絆 やまさきファミリークリニック
いとう腎クリニック

2026.9.1 下関市立市民病院広報年報委員会発行

下関市立市民病院

基本理念

安心の優しい医療を提供し、
市民から信頼される病院を目指します

基本方針

- 市民のニーズに応じた最善の医療を提供します。
- 重点診療項目として、悪性疾患、救急及び生活習慣病に取り組みます。
- 安定した健全な病院経営を目指します。

特集

肥満症外来 はじめました

糖尿病内分泌代謝内科医長

こまる みちこ
小丸 倫子

肥満症について

肥満 : BMIが25kg/m²以上の状態
肥満症 : 肥満に関連した健康障害を合併するか、その合併が予測され、医学的に減量を必要とする疾患

BMI : 体格指数 $\text{体重(kg)} / [\text{身長(m)}]^2$

「肥満症」と「肥満」は異なります。肥満と判定された上で、健康障害（下図参照）を合併している、又は腹部CTなどで内臓脂肪面積が100cm²以上の内臓脂肪型肥満を有する状態を肥満症といいます。

肥満の原因として、ホルモンの病気などが隠れていることがあります（二次性肥満）。甲状腺や副腎などのホルモンの病気が原因となっており、そのような病気がないか、当院では検査を行っています。

それらの病気が見つかった場合、ホルモンの病気として継続して治療に対応することができます。

肥満に関連する健康障害

- 耐糖能障害
- 脂質異常症
- 高血圧
- 高尿酸血症・痛風
- 冠動脈疾患
- 脳梗塞・一過性脳虚血発作
- 非アルコール性脂肪性肝疾患
- 月経異常・女性不妊
- 閉塞性睡眠時無呼吸症候群・肥満低換気症候群
- 運動器疾患
（変形性関節症・膝関節・股関節・手指関節、変形性脊椎症）
- 肥満関連腎臓病

肥満症の治療

肥満症の治療は、まず、食事療法、運動療法が基本です。肥満症外来では、管理栄養士が患者さまそれぞれに合わせて、きめ細やかな栄養指導を行っています。

しかし、食事療法、運動療法だけでは治療目標の達成が難しい場合もあります。近年、肥満症に対して新しい薬物療法が登場しました。

2024年にGLP-1受容体作動薬、2025年にはGIP/GLP-1受容体作動薬が肥満症治療薬として発売されました。

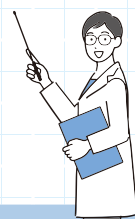
これらの薬は胃や脳に働きかけて、満腹感を感じやすくすることで食事摂取量を減らし、体重を減らす効果があります。それだけでなく、心血管疾患（脳卒中や心筋梗塞）のリスクを低下させるといわれています。

一方で消化器症状などの副作用が出現することがあり、専門医の診察のもとで使用する必要があります。

当院はこれらの薬剤による治療を行うための要件を満たしており、適正使用の観点から、新規作用機序を持つ医薬品や再生医療等製品の最適な使用を推進するために厚生労働省が示す「最適使用推進ガイドライン」を遵守し、治療を行います。

投与対象となる患者さま

高血圧症、脂質異常症、2型糖尿病のいずれかで薬物療法を受けられており、①または②の条件を満たされる方



- ① BMIが35kg/m²以上
- ② BMIが27kg/m²以上であり、2つ以上の肥満に関連する健康障害（※）がある方

（※）肥満に関連する健康障害

- 耐糖能障害
- 脂質異常症
- 高血圧
- 高尿酸血症・痛風
- 冠動脈疾患
- 脳梗塞・一過性脳虚血発作
- 非アルコール性脂肪性肝疾患
- 月経異常・不妊
- 閉塞性睡眠時無呼吸症候群・肥満低換気症候群
- 運動器疾患
- 肥満関連腎臓病

初診時

- 二次性肥満の除外（肥満の原因となる病気がないかを確認）
- 合併症の評価（肥満に関連する病気がないか確認）

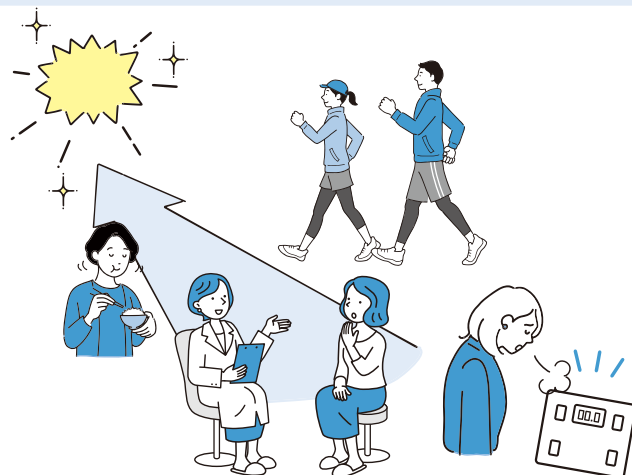
薬物療法の要件を満たす場合

通院

- 食事・運動療法を6か月以上実施
- 2か月に1回以上の頻度で栄養指導
- 高血圧・脂質異常症・2型糖尿病の薬物療法

それでも十分な効果が得られない場合薬物療法開始を検討

- 薬物療法
- 2か月に1回の栄養指導を継続
- 最大投与期間 68週または72週（薬剤によって異なります）



薬物療法開始後も栄養指導を継続して行います。

診療ご希望の患者さま

医療機関の先生方へ

診療ご希望の患者さま

肥満症外来受診希望の患者さまは、かかりつけ医より紹介状をお持ちください。

医療機関の先生方へ

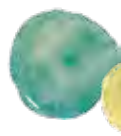
肥満症で介入が望ましい患者さまがいましたら、ぜひご紹介ください。薬物療法の適応がなくとも、合

併症の評価、二次性肥満の除外、栄養指導は患者さまにとって有益と思われる場合があります。

また、ご紹介いただく際、患者さまには薬物療法の適応があるとは限らないこと、適応があつたとしても薬物療法開始は通院スケジュール等を守っていただいた上で、6か月後以降であることをお伝えいただけますと幸いです。

お問い合わせ

電話 083-231-4111
（内科外来）



胃、大腸、肺などの他の臓器と比較するとまれですが眼部においても「がん」が生じることがあります。

眼科の領域では眼球そのものの「がん」は非常にまれですが、瞼(まぶた)で比較的多くの「がん」を認めます。

瞼の「がん」について

瞼で生じる「がん」の代表として下記のものが挙げられます。

これらは他の病気や良性の腫瘍と見分けづらい場合があり、注意が必要です。

①基底細胞癌:瞼の皮膚から生じる「がん」です。瞼の「がん」の約3割を占めています。

初期は黒褐色の黒子(ほくろ)や

じみの様な外観ですが、徐々に盛り上がり中央に陥凹や潰瘍を形成することがあります。紫外線を多く浴びることが発症のリスク要因として知られています。

②脂腺癌:瞼の中にある脂腺(脂を分泌する器官)から生じる「がん」です。瞼の「がん」の約5割を占めています。

見た目が霰粒腫(めいぼ・めばちこ・ものもらい)と似ている場合があり、複数回にわたって摘出術を受けても同一部位に再発する「めいぼ」が実は「がん」であった場合もまれにあります。

上記の①②で瞼の「がん(悪性腫瘍)」の約8割を占めています。

瞼の「がん」の治療

当院の眼科では腫瘍の治療は行っておりませんが、一般的に周囲に安全域(余裕)を付けた上で「がん」の切除を行います。瞼は小さく薄い表面に露出した臓器であり、眼球を覆う役目を持ちますので、切除により瞼に欠損が生じた場合は周囲の皮膚や口・鼻・耳の軟骨・粘膜を切除して瞼の再建を行う必要があります。

腫瘍が大きい場合は専門の形成外科医による切除手術および再建手術の治療法となります。

いずれの「がん」も早期からの遠隔転移は稀で進行が緩やかなため予後は比較的良好とされています。

＜眼科部長＞村田 晃彦

【連載エッセイ】

臨床工学部技師長を紹介します

技術の面から「医療の安全と安心」を支えます

令和8年度より「臨床工学部」の技師長を拝命いたしました鈴木と申します。

臨床工学部は、病院内で稼働する多種多様な医療機器のスペシャリストである臨床工学技士の部門です。副院長の栗栖臨床工学部長のもと14名のスタッフが、血液浄化、内視鏡、心血管カテーテル、手術室、医療機器管理など、それぞれの専門分野に分かれ、組織横断的に業務にあたっています。

現代の高度化する医療において、最新の医療機器は治療に欠かせない存在です。臨床工学技士は、人工呼吸器といった患者さまの命に直結する生命維持管理装置をはじめ、院内にある医療機器の操作と徹底した保守点検を担っています。いわば「機械のお世話係」といった感じになります。



臨床工学部技師長

すずき ゆうき
鈴木 雄揮

医師や看護師をはじめとする病院スタッフと密接に連携してチーム医療を展開しています。また、すべての機器が常に安全かつ正確に作動するよう日々目を光らせており、わずかな機械の異音や不調を見抜く目は本物です。患者さまと直接お話しする機会は少ないかもしれませんが、「医療の安全と安心」を技術の面から支える縁の下の力持ちです。

新体制のもと、スタッフ14名が一丸となり、下関市民の皆さまに安全で質の高い医療環境をご提供できるよう専門技術の研鑽に努めてまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

下関市立市民病院同門会 開催のご報告

市民病院からの
お知らせ
hospital news



2026年6月24日、^{しのはら まさひろ}しのはらクリニックの篠原正博先生を幹事として迎え、下関市立市民病院同門会を下関グランドホテルにて開催いたしました。本会は当院OBの先生方と現役勤務医師との交流を目的とした会ですが、新型コロナウイルス感染症流行の影響により実に9年ぶりの開催となりました。開催日が梅雨の時期ということもあり、あいにくの大雨に見舞われましたが、多くの先生方にご参加いただき、盛会のうち終了いたしました。

この9年間に下関で開業された5名の先生方からは、それぞれ貴重なお話を伺うことができました。特に、コロナ禍によって自身が理想とする医療の実践が難しくなったことを契機に、開業を決意された先生方が少なからずおられたことは大変印象的でした。会の最後には、当院と下関医療センターとの統合に関する現状説明と意見交換が行われ、新病院に対する期待やご要望について、多くの先生方から熱意あるご意見をいただき、大変有意義な時間となりました。

ご参加いただいた当院OBの先生方に、改めて心より感謝申し上げます。今後とも当院への変わらぬご支援と、ご指導・ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

＜循環器内科医長＞^{からしま えいじ}辛島 詠士

開業された先生方

- いな内科・糖尿病クリニック ^{い な ゆうじろう}伊奈 雄二郎 先生 ● ひこしまこどもクリニック ^{かわの しょうじ}河野 祥二 先生
- きど整形外科 ^{き ど さとし}城戸 聡 先生 ● 腎泌尿器科はらクリニック ^{はら こうじ}原 宏二 先生
- やました整形外科クリニック ^{やました あきひさ}山下 彰久 先生 （五十音順）

登録医の先生方へ

令和8年度下関市立市民病院地域医療連携の会を開催します。
11月12日（木）19時より
※ご案内は郵送いたします。

感染症対策の合同机上訓練を行いました



2026年6月11日、海峡メッセ下関で新興感染症の発生を想定した訓練を開催しました。

市内75医療機関、下関市保健所、下関市医師会から173名が参加し、新興感染症に配慮した避難所での感染対策についてグループワークを行いました。災害時における感染対策の重要性を考える機会となりました。



RST(呼吸器サポートチーム)とは何ですか？

RST (Respiratory Support Team…呼吸器サポートチーム) は、ご病気等により呼吸状態が不安定である患者さまを多職種で支える専門チームです。

医師と看護師をはじめとしたコメディカルスタッフが連携し、安全な呼吸管理と早期回復を目指して活動しています。

RSTの活動内容を教えてください。

RSTは呼吸器外科医師、クリ

ティカルケア認定看護師、理学療法士、言語聴覚士、臨床工学技士、管理栄養士で構成されています。

毎週カンファレンスやラウンドを行い、人工呼吸器などの呼吸を助ける医療機器を使用している患者さまを多職種で支援しています。それぞれの専門性を生かしながら、安全な治療と早期回復を目指しています。

RSTで理学療法士としての役割を教えてください。

私は主に呼吸リハビリテーションと早期離床を担当しています。

カンファレンスで検討した内容をもとに、必要に応じて担当リハビリスタッフへのアドバイス等を行っています。また、毎朝行われる早期離床カンファレンスに出席し、集中治療が必要な患者さまの状態を確認しています。

できるだけ早い段階から体を動かすことで体力低下を防ぎ、一日でも早く元の生活に戻れるように支援しています。

仕事をしていくうえでどんな時にやりがいを感じますか？

人工呼吸器管理が必要なほど重症だった患者さまが、多職種の協力によって少しずつ回復し、元気に退院

される姿を見ると大きなやりがいを感じます。

患者さまが再びその人らしい生活を送れるよう支援できることが、この仕事の魅力だと思います。

仕事をしていくうえで大切にしていることは何ですか？

理学療法士として知識や技術を磨き続けることはもちろん、患者さまやご家族の思いに寄り添うことを大切にしています。

また、多職種との連携やコミュニケーションを大切にし、チームで力を合わせて、より良い医療を提供できるように心掛けています。



(写真左より理学療法士、看護師、臨床工学技士)

▲人工呼吸器装着中のリハビリの様子です。各分野のプロが連携し、万全の体制で実施しています。



**看護師
だより
Vol.22**

**6階東病棟
副主任**
ふじい 藤井 みつ 三津



▲適応率の向上を目指し、推進活動を頑張ります。

当院では、検査・手術から退院までの経過をまとめた標準診療計画表「クリニカルパス」を導入しており、現在約100種類のパスを運用しています。

私は日本クリニカルパス学会パス認定士を取得し、多職種で構成されるクリニカルパス推進委員会で、パスの分析・改訂支援や新規パス作成時の指導的役割を担っています。

また、新人職員向けの研修実施や院内のクリニカルパス大会の開催を通じ、組織的な活動を積極的に行っています。クリニカルパスを通じて、多職種連携のもと、医療の質と安全性を高めるとともに、患者さまが「安全・安心」に療養できる環境を提供できるよう、努めてまいります。

地域の絆

当院と連携している医療機関等を紹介します。
登録医の先生と当院とは、患者さまの病状に合わせた治療が行えるよう、密接な関係をつくっています。

下関市立市民病院 地域連携室

電話：083-224-3860 FAX：083-224-3861

やまさきファミリークリニック

院長 やまさき かずお 山崎 和夫 先生



当院は、新垢田東町の垢田小学校近くで開業して25年が経過しました。当初はファミリークリニックとして、小児から高齢者までを診療していましたが、医療情勢の変化もあり現在は内科がメインとなっています。

高血圧、糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病、消化器・肝・腎・呼吸器・循環器などの一次診療、健康診断、予防接種、一般外来診療などに対応しています。また、訪問診療・看取りにも取り組んでおります。

当院の外来機能を維持するうえで、より高度な検査・精査・入院などについては度々下関市立市民病院と連携させて頂いております。地域連携室で調整・対応していただき、今まで診療を続けることができましたことを日々感謝しております。

今後も、地域の皆様の健康管理に貢献できるように努めてまいりますので、どうぞ宜しくお願い致します。

〒751-0843 下関市新垢田東町2-2-16 TEL：083-252-7227 <内科・消化器内科・循環器内科・呼吸器内科>
月・火・木・金：9:00～12:30、16:00～18:00、訪問診療：14:00～16:00
水・土：9:00～12:30（午後休診）※第2水曜日休診

いとう腎クリニック

院長 いとう しんいち 伊藤 真一 先生

当院は19床の有床診療所として、慢性腎臓病（CKD）診療から透析医療、循環器疾患まで包括的な医療を提供しています。このたび透析医療体制の強化を目的に施設を増築し、透析ベッドを45床から60床へ増床しました。これにより、地域の透析患者の受け入れを拡充し、透析導入から安定した維持透析まで継続的に対応できる体制を整えました。



当院には腎臓専門医、透析専門医、循環器専門医が在籍し、腎疾患と心血管疾患を一体的に捉えた診療を行っています。また、山口県のCKM（心腎代謝）対策にも参画し、CKM診療医として腎機能低下の進行抑制に加え、心不全や動脈硬化性疾患の予防・管理に取り組んでいます。透析患者の急性増悪や合併症には入院管理で対応し、理学療法士によるリハビリテーションを通じてサルコペニアやフレイルにも介入しています。さらに短期・長期デイクアや市内全域の送迎サービスを提供し、通院や在宅生活を支援しています。今後もCKD診療、透析、心血管管理、リハビリテーション、在宅支援を一体的に提供し、地域の腎疾患医療に貢献してまいります。



〒751-0838 下関市山の田本町6-6 TEL：083-253-0211 <内科・腎臓内科・循環器内科・泌尿器科・リハビリテーション科>
月・水・金：9:00～12:00、14:00～17:00 火：9:00～15:00 木・土：9:00～12:00（午後休診）

外来診療のご案内

2026年 9月1日現在 (※)…非常勤医師

診療科		曜日	月	火	水	木	金
総合診療科			中塚 昭男	中塚 昭男	中塚 昭男	中塚 昭男	中塚 昭男
内科・消化器内科			保利 喜史(※)		森下 寿文(午前)		森下 寿文(午前)
内科・呼吸器内科			真鍋 大樹(※)(午前)				鳥井 亮(※)(午前)
内科・循環器内科			金子 武生／野田 裕剛(※)	金子 武生	安田 潮人／野崎 俊哉	辛島 詠士	辛島 詠士／天野 寛世
禁煙外来(午前・予約制)							有馬 岳史(※)
内科・腎臓内科				松尾 健人 盛田 大輔(※)(午前)	濱小路 友哉(※)(午前)	坂井 尚二(※) 馬場 玲央	
内科・血液内科				久保 安孝		久保 安孝	
内科 リウマチ膠原病内科			大田 俊一郎 久志本 和郎 (地域連携室 紹介のみ)	大田 俊一郎 (地域連携室 紹介のみ)	大田 俊一郎 久志本 和郎	木村 光一(※) (第1・第3・第5)	大田 俊一郎 久志本 和郎
糖尿病内分泌代謝内科			山田 健太郎	小丸 倫子	吉森 章人	山田 健太郎	小丸 倫子
肥満症外来			山田 健太郎	小丸 倫子	吉森 章人	山田 健太郎	小丸 倫子
感染症外来				白石 研一郎(午前)			
神経内科(午前中・予約制)					本田 真也(※)		
精神科					朴 成祐(※)午前		
心臓血管外科				安恒 亨		上野 安孝／栗栖 和宏	
外科	午前 午後		宮竹 英志 中原 千尋	松下 章次郎 中原 千尋	大谷 和広 宮竹 英志	萱島 理	松下 章次郎 大谷 和広
			院長外来(院外紹介) 宮竹 英志	乳腺外来 松下 章次郎	大谷 和広	ストーマ外来(第2・第4)	乳腺外来 松下 章次郎
			乳腺外来(第3) 白見 政一郎(※)	中原 千尋		萱島 理	大谷 和広
呼吸器・抗酸菌症外来(呼吸器外科)				吉田 順一		吉田 順一	
呼吸器腫瘍センター(呼吸器外科)			担当医 (当日の地域連携室紹介のみ)	井上 政昭	担当医 (当日の地域連携室紹介のみ)	井上 政昭 水内 寛	名部 裕介
脳神経外科			尾中 貞夫(午前)	前原 直喜(午前)	尾中 貞夫(午前) 前原 直喜(第3午前)		尾中 貞夫(午前) 前原 直喜(午前)
整形外科	再診		白崎 圭伍 鮎川 周平／小畑 天義	石津 研弥 渡邊 哲也／兼田 慎太郎	飯田 圭一郎 石津 研弥／末原 由悠	飯田 圭一郎 白崎 圭伍(午前)	渡邊 哲也(午後) 鮎川 周平／久我 茂誠
	新患		鮎川 周平 白崎 圭伍／末原 由悠	渡邊 哲也 石津 研弥／小畑 天義	飯田 圭一郎 石津 研弥／久我 茂誠	飯田 圭一郎 白崎 圭伍／兼田 慎太郎	鮎川 周平／兼田 慎太郎(午前) 小畑 天義(午後)
漆髯	一診(初診)		合田 彩也香		平儀野 剛	小川 将司(※)	合田 彩也香
	二診(予約のみ)		平儀野 剛	吉弘 悟	合田 彩也香	吉弘 悟	吉弘 悟
眼科			村田 晃彦	村田 晃彦	村田 晃彦	村田 晃彦 ロービジョン外来(第4午後)	村田 晃彦
放射線診断科				山砥 茂也			
放射線治療科			有賀 美佐子	有賀 美佐子	有賀 美佐子	有賀 美佐子(午前) 上田 和志(※)(午後)	有賀 美佐子
小児外科					九大派遣医師(※)(午前)	中村 晶俊(※)(第2・第4午後)	
産婦人科	午前(一般外来)		前田 博敬	前田 博敬	前田 博敬	前田 博敬	
	午後(更年期外来)			前田 博敬(予約のみ)			
疼痛外来 ペインクリニック内科	午前			藤原 義樹(※)			藤原 義樹(※)
	午後			藤原 義樹(※) 午後の外来は13～14時受付			門脇 史宜(※)
皮膚科			鬼束 真美(午前)	鬼束 真美(午前)		鬼束 真美(午前)	鬼束 真美(午前)
耳鼻咽喉科			平 俊明 北川 理奈	平 俊明 九大派遣医師(※)	平 俊明 北川 理奈	平 俊明 北川 理奈	平 俊明 北川 理奈
歯科・歯科口腔外科			上原 雅隆 西川 健	上原 雅隆／西川 健 長畑 佐和子	上原 雅隆 西川 健	上原 雅隆／西川 健 長畑 佐和子	上原 雅隆 西川 健
緩和ケア外来						宮竹 英志(午前)(予約制)	
救急科(午前・午後)			中原 千尋／尾中 貞夫 中塚 昭男	尾中 貞夫	中原 千尋	中原 千尋／尾中 貞夫 中塚 昭男	中原 千尋 中塚 昭男

◆糖尿病教室（要予約：内科外来にお問い合わせください。）

◆ペースメーカー外来（内科外来：要予約）14:00～15:00

◆ロービジョン外来（眼科外来：要予約）視覚に障害があるため生活に何らかの支障を来している方への支援

◆整形外科は再診・新患ともに完全予約制です。急患はご相談ください。

病院ホームページは
こちらから



地方独立行政法人

下関市立市民病院

SHIMONOSEKI CITY HOSPITAL

〒750-8520 下関市向洋町一丁目13番1号

TEL:083-231-4111(代表) FAX:083-224-3838

ホームページアドレス <https://shimonosekicity-hosp.jp/>

地域連携室(紹介予約) 専用TEL:083-224-3860 専用FAX:083-224-3861



禁煙外来を行っています。当院は敷地内禁煙です。ご協力をお願いします。